

第9回「文芸思潮」エッセイ賞 中間発表 一次・二次・三次予選

●第9回「文芸思潮」エッセイ賞に御応募いただき、まことにありがとうございます。日本全国および海外から総数五二〇編の作品をお寄せいただきました。心から御礼申し上げます。去る四月三十日に締め切らせていただき、厳正な一次・二次・三次予選審査を行いました。その結果を謹んでここに発表させていただきます。無印は一次予選通過者、○印は二次予選通過者、◎印は三次予選通過者です。

北海道

- 漆黒の車窓 B E N
○ 湯気に向こうの夫婦 サトウサト
シンデレラとさよならをして 伊草好

あばよ

- ◎ 二月の雪 鎌田 誠
◎ 逃げるが勝ち 秋元宣壽
裁判員に参加すべきか？ 西城民治

酒三昧

- ◎ 魂を捨てた父 田賀せいし
◎ インスパイアされた映画観 日野笙子

合コン二十年やりました。

- ◎ 陽だまりロード、自然・人・ゆめスケッチ 鷺津 勇
光の使命を果たす 高森諦観
「江戸」にはなかった言葉たち 堀 保夫

一人娘、介護回顧録

- ◎ さよなら、ポー 高梨良太
◎ 私は頭が悪い 岡本雅文
◎ 名誉の負傷 早川とも子

群馬県

- ◎ 逆襲の烽火 のびしずか
◎ 星の世界 紙屋里子
消えた遺産金 富山由紀子
デフォルメされた感情 軽部利恵
去来川正明

群馬県

- ◎ 私のオーストラリア ウスイアスミ
◎ 恋文 紀川しのろ
◎ 隅田川の思い出 三枝花里
◎ 女の軀 七尾十四日
◎ 今ならよく理解できる 初日の出

永久の別れ

- ◎ 二人の祖母 大山日文
◎ 夜桜を見に行く 貞橋高伸
◎ 不思議な親切 藍原貴之
◎ 山吹中学校2組の輪 龍口 宏
◎ 露地に横丁に電車道 小笠原幹夫
◎ フラナという名の島 西野久美
◎ 怪しい国会議員 武村三幸
◎ 父からの手紙 原 節子

義母

- ◎ 父の釣り 上田 勝
◎ 父の釣り 犬伏久美子
◎ 運命のいたずら 齋賀由美子
◎ 祖父との想い出 葛岡昭男

父の釣り

- ◎ 父の釣り 上田 勝
◎ 父の釣り 犬伏久美子
◎ 運命のいたずら 齋賀由美子
◎ 祖父との想い出 葛岡昭男

運命のいたずら

- ◎ 祖父との想い出 葛岡昭男

祖父との想い出

- ◎ 祖父との想い出 葛岡昭男

赤いうろこ

- ◎ 赤いうろこ 渋谷欣一
◎ バトン 瀬川智美子
◎ テレビ塔のオルゴール 金田一淳
◎ テレビ塔のオルゴール 金田一淳
◎ 音楽室に置かれた封筒 鈴木萬里代

福の神は自由人

- ◎ 福の神は自由人 加藤ミドリ
◎ Sさんのこと 中村行寿
◎ 父に詫げる 小川クニ
◎ 遠祖たちは大河ドラマの脇役 清水雅子
◎ 母への思い 荒田正信

震災後のデジタル社会で思うこと

- ◎ 震災後のデジタル社会で思うこと おおいで光一
◎ ハーレー・ダビッドソン 吉田宏子
世の中に音痴はいないと聞いたが…… 大野水絵
◎ 東日本大震災・行列と思いやりと 福田たいぞ
◎ ドミノ骨折 木立慈雨
◎ ガマヤーイ 島田和武
◎ また夏にでも 磯山正玄
◎ 母子手帳 川越アサカ
◎ 無礼者たち 西村正人

山形県

- ◎ 礼を返したオニヤンマ 戸嶋卓司
◎ 音楽室に置かれた封筒 鈴木萬里代

福島県

- ◎ バードテーブルの妙 高橋惟文
◎ 愚痴の追伸 沙山和子
◎ 記憶のいたずら 木村令胡
◎ グリーフケア 三瓶弘次
◎ 茶髪 鈴木篤夫
◎ きつと、帰ってくつと 西島雅博
◎ 「今」を生きる 島 生樹郎

茨城県

- ◎ ノー マネー 青柳みすず
◎ 老妻の晴舞台 竹越あきを
◎ 不思議な力 藤村順子
◎ 落穂拾い 八代 穰
◎ 思い出の中の車たち 石井公章
◎ 先祖を探る 鈴木 宏

栃木県

- ◎ わかりあえない 山根へこりの
◎ 猫による神と偶然への思索 上山ぼるぶ
◎ いのしし考 大森耀平

LAPIN DE GARENNE

- ◎ シナモンロール 十月ナナミ
◎ やせ猫 小野はな
◎ うちなーの神様 小林郁文望
◎ 「ハセツネ」のこと 小林理樹
◎ 考え方を修正して事に当たって 上野よしこ
◎ トマト、苦いか塩っぱいか 神尾和可子
◎ 秋のお茶会 水野亜美
◎ 人生行路 杉浦詩朗
◎ 心を守るために 浅井真理子
◎ 福島と知り合うときに 大空美南 星 まどか
◎ この命の向こう 朝丸裕二
◎ おっちゃんの背中 田上 豊
◎ 自分自身を編む 東海林理見子

変身願望

- ◎ 変身願望 日向佐保
◎ スイッチ・オン、もう一度 浜木綿

虫めがね

- ◎ 虫めがね 市田祥子
◎ 隣人からの教え 前田恭子
◎ 紙芝居の箱 菅谷春子
◎ 矛盾畑 小泉和也
◎ 夫の入院 菅宮慶江
◎ 忌み身長 小山 峻
◎ 眩暈の芯 下村きよ子
◎ 母と土曜日のきつねうどん 倉田紗緒里

東京都

- ◎ 言葉の力 きくみたかを
◎ 祇園囃子 きむ キョンヒ
◎ わが家の窓から ジュ・リエ・ット
◎ ヘレンの『ぶ』の『せん』のうあい ナカジマアユミ
◎ 春がはじまる ナカジマアユミ
◎ 愚痴グチ ミズノ
◎ 走れメシダ めしだけいせい
◎ 電車で化粧姿を見かけたなら ゆうり忍

私の不思議なヒーロー

- ◎ 私の不思議なヒーロー 羽田スウ
◎ 親しい死 遠藤芳子
◎ 空手形 恩田瑛梨
◎ 2番目という存在 華
◎ 四つ足の記憶 丸井しつぽ
◎ 交通博物館(と父)の想い出 玉坂国雄
◎ 享年九十八 桐ヶ谷忍
◎ 大阪遠征 九条之子
◎ メッキ 結城悠一郎

鋭い牙はなくなった犬丸らん

- ◎ 鋭い牙はなくなった犬丸らん 住吉康祐
◎ 私が大衆映画に味方する理由 御室孝
◎ 箱の中のケーキは 高 クマ子
◎ 帰る場所 山吹たかし
◎ 夜明けの鐘 山本周一

シンアモンロール

- ◎ シンアモンロール 十月ナナミ
◎ やせ猫 小野はな
◎ うちなーの神様 小林郁文望
◎ 「ハセツネ」のこと 小林理樹
◎ 考え方を修正して事に当たって 上野よしこ
◎ トマト、苦いか塩っぱいか 神尾和可子
◎ 秋のお茶会 水野亜美
◎ 人生行路 杉浦詩朗
◎ 心を守るために 浅井真理子
◎ 福島と知り合うときに 大空美南 星 まどか
◎ この命の向こう 朝丸裕二
◎ おっちゃんの背中 田上 豊
◎ 自分自身を編む 東海林理見子

変身願望

- ◎ 変身願望 日向佐保
◎ スイッチ・オン、もう一度 浜木綿

赤いうろこ

- ◎ 赤いうろこ 渋谷欣一
◎ バトン 瀬川智美子
◎ テレビ塔のオルゴール 金田一淳
◎ テレビ塔のオルゴール 金田一淳
◎ 音楽室に置かれた封筒 鈴木萬里代

福の神は自由人

- ◎ 福の神は自由人 加藤ミドリ
◎ Sさんのこと 中村行寿
◎ 父に詫げる 小川クニ
◎ 遠祖たちは大河ドラマの脇役 清水雅子
◎ 母への思い 荒田正信

震災後のデジタル社会で思うこと

- ◎ 震災後のデジタル社会で思うこと おおいで光一
◎ ハーレー・ダビッドソン 吉田宏子
世の中に音痴はいないと聞いたが…… 大野水絵
◎ 東日本大震災・行列と思いやりと 福田たいぞ
◎ ドミノ骨折 木立慈雨
◎ ガマヤーイ 島田和武
◎ また夏にでも 磯山正玄
◎ 母子手帳 川越アサカ
◎ 無礼者たち 西村正人

猫はかすがい 猫野歴女
李の花 武藤蓑子
「無宗教」のホトケ様 辺見 悠
明治の男の教え 北本千晶
愛しのパソコン三台記 牧康子
長生きしてすみません、と、悲しき言葉 堀木東子
我が目の梁 木戸博之
「あの日の出来ごと」を思う 山本 勝

隠しごと 川島英理沙
沈黙としての異文化 小池陽慈
濡れ落ち葉、空を飛ぶ 河島敬子
文通の頃 塚本正司
雛人形 横山緝子
カーナビ事件 土屋 守
111・222・333 大熊津夜子
「ごらん、君の輝く未来を」 堀淵理恵

父のことは、 Kanaway
自販機に百円玉を コミヤマシユン
人の一生 「ゴルビー」長田
マイ・ハッピー・パースデー
あの夜、僕たちは成し遂げた。 サトウユウ
大阪人 むかいはつこ
東京豊島区目白および雑司が谷 その周辺の民俗 ライオン丸

ブラインド・ソーシャリティ 落合夏見
砂漠の幻想 六川あきら
趣味欄に「読書」と書いた日 柘野茂樹
ハゲタカ 松原泰子
川輪 宇内 翠
銀色のやつ 幸 洋子
地域の人々に支えられて 池田義朗

雨の夕べはウオッカで小林隆猛
台湾旅行で八田さんに学んだこと 川瀬 潔
永別・真友・豊 坂本 榮
異郷の友 前岡光明
ベリンツォーナの迷子 町田茂

ももこの世界 栗山恵久子
ひとり娘の報復 吉岡順子
「みどりのおじさん」から小学生のみんなへ 熊谷一 郎
夢で会いましょう 米田 玲
初夏 姉齒浩一

反日運動の謎 前川美栄子
何が狂い始めて来た 太田哲夫
今も学んでいる言葉 大澤馨櫻
変わり目の日 池本 律

娘に託したイーゼル 渡辺裕香子
詐欺のゆくえ 藤田陽子
奥ゆかしさよ、さようなら 宮路日出夫
長命草の逆襲 池田智子
病に癒された父子の絆 板東洋三郎

真子という名前 田中真子
南極星 星野佳代子
「地上のパン」「天上のパン」 岩崎充益

ボーイ・ミーツ・ベンダー・マシーン 結城紫雄
メシクッタカ 太原正裕
たたみ半畳の宇宙観 永平寺座

夏目漱石と女性 結城昌子
夏目漱石と女性 原石 寛
遅しき人生の先輩に贈ってもらった言葉のプレゼント 春野葉桜

常識という名の幻想 小林大祐
孤独 やさしい雨 柳澤 進
やさしい雨 チョンガーふくろう求職記 子安一也

名残の夜空ーカナダ人捕虜との交友ー 黒田直隆
善人の後光 河村隆史
日本語よ よみがえれ 山内紀美江

義姉の親切故に 中田澄江
信州の海の底 オダ ナオ
体の不思議 一 みゆき
作詞ゼミナール 西條由美子

心の手足 ムーミン
ロシアに隕石が衝突した日ー2013年2月15日03時20分(世界時) 漆畑農斗
つながっていない国の日本 松宮こう

小さな捨石 福本謙太郎
いじわるおばさん 田桐 勲
白い傷痕 白石美津乃
「一房の葡萄」の思い出 宇佐美宏子

セピア色の写真 藤田徹郎
先生とは？ ためらい、さからいつづけて三十五年 相馬 晃
それって当り前？ 東 やす子
院内感染する挨拶 梅津博之
母の帰郷 田中孝司

私の見た夢 朝岡 滯
私、うつですけど、何か？ 北上 実
セピア色の写真 藤田徹郎
先生とは？ ためらい、さからいつづけて三十五年 相馬 晃

改心 上杉 辰
じゅげい 西 允明
母の手作り絵本 天道静子
鉄は熱いうちに…… 森下正夫
冬枯れの風景 鈴木功男
体調から学んだこと 長谷川敏久

「場の力」と「わくわく」のチャレンジ 森 喜代美
通学路 清良恵美
妻は世界一の美人 岩谷隆司
私は、ストーカー 西 直人

富山県
チャッピー 岡野みつる
日々是好日 恵香
現代の絆 早月春美

義姉の親切故に 中田澄江
信州の海の底 オダ ナオ
体の不思議 一 みゆき
作詞ゼミナール 西條由美子

心の手足 ムーミン
ロシアに隕石が衝突した日ー2013年2月15日03時20分(世界時) 漆畑農斗
つながっていない国の日本 松宮こう

小さな捨石 福本謙太郎
いじわるおばさん 田桐 勲
白い傷痕 白石美津乃
「一房の葡萄」の思い出 宇佐美宏子

石川県
私 石井良武
二〇一二・三・一一 仙台 酒井恵三
隣の白子 山口泰子

義姉の親切故に 中田澄江
信州の海の底 オダ ナオ
体の不思議 一 みゆき
作詞ゼミナール 西條由美子

心の手足 ムーミン
ロシアに隕石が衝突した日ー2013年2月15日03時20分(世界時) 漆畑農斗
つながっていない国の日本 松宮こう

小さな捨石 福本謙太郎
いじわるおばさん 田桐 勲
白い傷痕 白石美津乃
「一房の葡萄」の思い出 宇佐美宏子

福井県
故郷の山麓で 藤井典央
祖母の匂い 近藤幹夫
畦みち 渡辺庸子

義姉の親切故に 中田澄江
信州の海の底 オダ ナオ
体の不思議 一 みゆき
作詞ゼミナール 西條由美子

心の手足 ムーミン
ロシアに隕石が衝突した日ー2013年2月15日03時20分(世界時) 漆畑農斗
つながっていない国の日本 松宮こう

小さな捨石 福本謙太郎
いじわるおばさん 田桐 勲
白い傷痕 白石美津乃
「一房の葡萄」の思い出 宇佐美宏子

山梨県
武田信玄「人は石垣、人は城」 甲斐隼人
瓜の蔓に茄子は生るのか 富嶽庵

義姉の親切故に 中田澄江
信州の海の底 オダ ナオ
体の不思議 一 みゆき
作詞ゼミナール 西條由美子

心の手足 ムーミン
ロシアに隕石が衝突した日ー2013年2月15日03時20分(世界時) 漆畑農斗
つながっていない国の日本 松宮こう

小さな捨石 福本謙太郎
いじわるおばさん 田桐 勲
白い傷痕 白石美津乃
「一房の葡萄」の思い出 宇佐美宏子

静岡県
飲ンペー顛末記 エステル洋子
検証・キツイ一言 ずな・しゃし

義姉の親切故に 中田澄江
信州の海の底 オダ ナオ
体の不思議 一 みゆき
作詞ゼミナール 西條由美子

心の手足 ムーミン
ロシアに隕石が衝突した日ー2013年2月15日03時20分(世界時) 漆畑農斗
つながっていない国の日本 松宮こう

小さな捨石 福本謙太郎
いじわるおばさん 田桐 勲
白い傷痕 白石美津乃
「一房の葡萄」の思い出 宇佐美宏子

岐阜県
あこがれのT先生 古川 鯉
少年と赤 秋葉稔り
老の残して置きたい事 春野すみれ

義姉の親切故に 中田澄江
信州の海の底 オダ ナオ
体の不思議 一 みゆき
作詞ゼミナール 西條由美子

心の手足 ムーミン
ロシアに隕石が衝突した日ー2013年2月15日03時20分(世界時) 漆畑農斗
つながっていない国の日本 松宮こう

小さな捨石 福本謙太郎
いじわるおばさん 田桐 勲
白い傷痕 白石美津乃
「一房の葡萄」の思い出 宇佐美宏子

愛知県
毎日が革命2013 臼井正己
匂いのない防腐剤 伊東 弘
カンボジアの青年 加納 伸
詩吟の誘いで動き回った日の思い出 俊伸

義姉の親切故に 中田澄江
信州の海の底 オダ ナオ
体の不思議 一 みゆき
作詞ゼミナール 西條由美子

心の手足 ムーミン
ロシアに隕石が衝突した日ー2013年2月15日03時20分(世界時) 漆畑農斗
つながっていない国の日本 松宮こう

小さな捨石 福本謙太郎
いじわるおばさん 田桐 勲
白い傷痕 白石美津乃
「一房の葡萄」の思い出 宇佐美宏子

京都府
たつた一人のハイライト

義姉の親切故に 中田澄江
信州の海の底 オダ ナオ
体の不思議 一 みゆき
作詞ゼミナール 西條由美子

心の手足 ムーミン
ロシアに隕石が衝突した日ー2013年2月15日03時20分(世界時) 漆畑農斗
つながっていない国の日本 松宮こう

小さな捨石 福本謙太郎
いじわるおばさん 田桐 勲
白い傷痕 白石美津乃
「一房の葡萄」の思い出 宇佐美宏子

最終的に選ぶ遊び 山田大慈
生い立ちの記 山田真美
民家移築の思い出 柴田大五郎

義姉の親切故に 中田澄江
信州の海の底 オダ ナオ
体の不思議 一 みゆき
作詞ゼミナール 西條由美子

心の手足 ムーミン
ロシアに隕石が衝突した日ー2013年2月15日03時20分(世界時) 漆畑農斗
つながっていない国の日本 松宮こう

小さな捨石 福本謙太郎
いじわるおばさん 田桐 勲
白い傷痕 白石美津乃
「一房の葡萄」の思い出 宇佐美宏子

水仙と文さん 谷川 奏
結婚の資格 長谷川智美

義姉の親切故に 中田澄江
信州の海の底 オダ ナオ
体の不思議 一 みゆき
作詞ゼミナール 西條由美子

心の手足 ムーミン
ロシアに隕石が衝突した日ー2013年2月15日03時20分(世界時) 漆畑農斗
つながっていない国の日本 松宮こう

小さな捨石 福本謙太郎
いじわるおばさん 田桐 勲
白い傷痕 白石美津乃
「一房の葡萄」の思い出 宇佐美宏子

亡くして分る親の恩 小俣早苗
トムのおじさん 日沼よしみ

義姉の親切故に 中田澄江
信州の海の底 オダ ナオ
体の不思議 一 みゆき
作詞ゼミナール 西條由美子

心の手足 ムーミン
ロシアに隕石が衝突した日ー2013年2月15日03時20分(世界時) 漆畑農斗
つながっていない国の日本 松宮こう

小さな捨石 福本謙太郎
いじわるおばさん 田桐 勲
白い傷痕 白石美津乃
「一房の葡萄」の思い出 宇佐美宏子

- ヒヨドリは絵になった 林直子
- 運賃着払い 奥田登
- 変遷 西村省三
- 施設選びは慎重にネ 池上博
- お餅が出るまで 奥山真理
- あだ桜 中川一之
- 大阪府 中川一之
- 川堤を走る きひつかみ
- やさしい娘 マーさん
- 五時点灯 よすみこうすけ
- リストラ忘備録 鑑照
- スリッパを捨てる日 岩城沙ゆり
- 未来をつくる瞬間 結城鋤村
- 着の時代 光田恵
- 至福のひと時 赤間芳太郎
- 寿司屋と私 雪路
- 猫に関する四つの章 平一郎
- 亡き母からの褒美 櫻井俊甫
- 無題 泉谷久美子
- 史の服の着方 小島史
- ブッキョウを食べたことのある 吉森尚良
- 高野山参り 武田英子
- 日々これ好日 齊藤潤子
- 私の夢 坂田誠治
- 目線 中 他見男
- 残照 北野滋子
- あれから四年 藤井千代江
- 桜ものがたり 中島 薫
- 白鈴の音 町田理樹
- 廃墟 南原幸枝
- 命さえあれば 北村昭子
- 母の茶がゆ 池田裕一
- 黒の寸劇 畑 美妃
- 矛盾 間嶋 清
- 「第九」コンサート 田原芳広
- トオル君の声がいつも耳に 高野陽子
- タイムトラベル 三宅万理子
- ボルネオの墓参り 弘田紀子
- 携帯電話、なるほどたしかに便利だが…… 山中健二郎
- ソフトな裏技で説く購買力平価 黒田隆幸
- 命ある限り 山ノ内京子
- 救急車は呼ばないで 山田まさ子
- うちのカメちゃん 高橋正記
- 兵庫県 高橋正記
- つながり 杏
- 庭の奥 吉田はるみ
- 今なお、心が揺れる 三木俊平
- 仮想の人生 秋山思源
- 虐待 松川琴美
- いいよよきたか、いやいやまだまだ 上村和子
- ホームグラウンド 泉 まり
- いつも何度でも笑いなさい 陶木の風
- 1個だけ 浅 孝
- 譫妄 白楊風子
- 故郷の荒井川と叔母への思い 鳩 平和
- 桜の季節 野宮 映
- ペットボトルの水 六藍光洋
- 原子力発電 井上元子
- 日々の暮らしの中の思い 川端雅幸
- 家族に支えられて 山口政行
- 千羽鶴 中山典夫
- 五十年目の詫び 渡邊和加子
- 奈良県 渡邊和加子
- 恋せよ、おかん！ 黒主まごお
- 手作り料理 瑛夷堵
- コブ談義 十七団
- 父子章 中山とし子
- おばさんが行く！東へ西へ 中村あけみ
- 真つ白な帆に風を孕んで 南 奈乃
- 繋がる生命 南部花乃子
- 足掻き花 増井紀子
- 和歌山県 増井紀子
- 柵の中の不思議な光景 桐生敦子
- 父親の役割、母親の役割 前川美和
- 霧の朝 コヒモト
- 繭の部屋 八東一臣
- 鳥取県 八東一臣
- 母の三回忌に合わせて組んだ父の生まれ故郷を訪ねて 里崎 雪
- 熊本県 里崎 雪
- あたりまえのはなし 井伊 爽
- これぞ私の生きる道 永池あけみ
- 天使力 中田由希子
- 大分県 中田由希子
- 「徳」と「得」 ハイボール・オーマエ
- 神からの贈り物―「空」を生きるコ―ヘレトの知恵― 宮元 牧
- 奇跡の花咲く 八坂明日
- 真実の扉 井 由美子
- パンプキン・パンプキン 野々下留美
- 宮崎県 野々下留美
- 戦跡を巡って 中武千佐子
- 3月27日 永井舞子
- 竜胆の里 池山弘徳
- ユーゴン夫妻来日！ 浅尾しな子
- 鹿児島県 浅尾しな子
- 裸足のカーサン 若草田ひずる
- あの日見た夢の先には…… 大和撫子
- 思春期から青春と死へ 島本青玄
- だいごう、大喪小へ行く 宮島孝男
- 忘れじ わが海軍の思い出 郷 芳美
- 島根県 森口 実
- 悩める学生 M
- 岡山県 くりた
- 貧困 くりた
- 怒気 くりた
- 「兵器」と「凶器」 ……核時代に思う…… 河井龍夫
- アラブ、ぶらぶら 秋村耕野
- 八十歳の春 杉原不二夫
- その色の記憶 井上幸子
- 一通の手紙 岡野初枝
- 広島県 岡野初枝
- わすれていたことば いまだまりこ
- 「塞翁が馬」の背に揺られて 梶川洋一郎
- 陌狗吠堯 慶祿法師
- 光芒 榎並掬水
- 最後の言葉 寺岡寿子
- 幸せはどのくらい？ 苑田有子
- 空白の通知表 城戸則人
- 山口県 城戸則人
- 汚れつちまった悲しみへ 多幸
- カラスの恋 藤瀬 恵
- 異国のタクシー 野花
- 晴れのち曇り……駅にて 村田直美
- 徳島県 村田直美
- 私「チゴイネルワイゼン」 野村夢銘
- 道 野村夢銘
- 香川県 鈴木綾子
- 樽太鼓 森 俊介
- 深爪まで2、3ミリ 朝生カイ
- 紫蘇染めの晒木綿 寒川靖子
- こども俳句 池田直子
- 食いしん坊 奴賀節子
- 愛媛県 奴賀節子
- one 泉 亜季枝
- 帰って来た頃 小島百合江
- 高知県 小島百合江
- 若い女の子達よ、本質を見抜け！ 絵瑠
- 見出し語読破ガイダンス 桔梗
- 龍馬はどこに 神谷久香
- 真夜中のビートルズ 麻木佑里
- 雑草に教えられて 井崎多津子
- 福岡県 井崎多津子
- 十一文半 おおつかみずほ
- 誰だって人生波瀾万丈 コウヤサトシ
- 静謐 阿賀佐圭子
- 巨人大鵬たまご焼き 蛙屋無二斎
- コンビニ娘 宮川俊朗
- 南無 狸さち大権現 原田可菜人
- 一杯のコーヒ―の哲学 光枝うしろう
- 三島由紀夫は何故自殺したのか？ 創永生
- 花が綺麗に見えた 大桐信之助
- 六感 秋山幸晴
- 灰谷さん、ありがとう 村田和哉
- 古いの楽しみ 川口順子
- 信濃路の人々 森 千恵子
- 習いごとの光景 内川泰子
- カミナリおやじ 森 幸夫
- 「網走まで」私的恋愛小説論 山本憲明
- 秀吉が博多で食べた菓子 清田 進
- プリキの缶と姑 福田良子
- 淡墨桜 山上勝将
- 男女の特徴 西 由紀
- 私のアスベルガー症候群と機能不全国家 藤 小百合
- 佐賀県 藤 小百合
- 立春 小森えみ
- ボクを捨てないで 鶴 良夫
- 長崎県 鶴 良夫
- 看護師 高野悦正
- 見ざる、言わざる、聞かざる 赤井ナノカ
- 父のアンブ 竹下修一
- もうひとつの相撲観戦 今田健悟
- ダーチャとベーシックインカム 歌野 敬
- 人生とは出会いと組合せのゲームである 大場義之

まほろば賞 スポンサー募集

まほろば賞を支援して下さるスポンサーを募集しています。賞金・記念品などご提供いただける方がいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。1口1万円を御支援いただけましたら幸いです。

アジア文化社五十嵐勉までご連絡下さい。
TEL&FAX03-5706-7848
郵便振替 00140-9-770331
名義アジア文化社

☆「文芸思潮」は左記の書店で店頭販売されております。

【東京】
ジュンク堂池袋本店
紀伊國屋書店新宿本店
書泉グランデ
東京堂書店神保町店
アマゾン

応募者の皆様へ

第一次・第二次・第三次の選考について

●第9回「文芸思潮」エッセイ賞への御応募まことにありがとうございます。第一次・第二次・第三次選考について選考委員会より付記させていただきます。

第一次の選考基準は、他者に対して伝わる文章になっているかどうかが最重要の基準点です。今年も書く姿勢を加味させていただきます。少し文章が粗くても、他者に訴えたい切実なものが感じられる作品は一次を通過しています。また逆に文章は整っていても、書く姿勢に曖昧なもの、書く必然性が希薄なもの、中途半端なものは落とさせていただきます。この二点をクリアしたものが一次予選通過者です。何%とか、何篇以内とか、数字の枠はありません。したがって、応募者全員が一次予選合格ということもありません。

また第二次予選は、その中でさらに強く何かが感じられるもの、光るものが選ばれます。何かが読み手の中に残っている作品ということになります。内容でもいいですし、文章でもいい、一行でもいい、一人の人物でもいい、見方でもいい、何か一つ心に残るようなものがあると、上に拾い上げたくなるといふ、一つの魅力を持っているかどうかポイントになります。

第三次予選は、よりたくさんの人に読んでほしくなるような普遍的な力を備えているかが、選考の基準になります。第三次予選まで通過した作品は、だいたい雑誌に載っている、人に読んでもらっても何か訴える力を備えている、読んだ人の心に何かが残って新たな力になるような作品です。

「文芸思潮」選考委員会では、選考の便宜性を重視して作品数によって制限するのではなく、作品の内容を重視して、優れた作品がたくさんあれば、できるだけその作品の価値やレベルによって、作品を残すよう心がけています。したがって、場合によってはたくさんの方が三次予選、さらにその上に選出される可能性もあります。今年第九回は昨年よりさらにレベルが上がったことを実感しております。

二次予選通過以上の方は、例年弊社より出版しております「エッセイ宇宙」に作品をご掲載いただけます。胸に残る作品、残しておきたい作品、たくさんの方に読んでほしい作品を、形にして長く保存し、広く読んでいただくことを願っております。どうぞお申し込みください。

また御自身の文章力が具体的にどれくらいのレベルか、文章力検定も併せてご利用いただけましたら、文章技量向上の一つの目安になると思います。

〔「文芸思潮」エッセイ賞選考委員会〕

第6回日本語文章力検定

文章能力アップのために

あなたの文章力はどれくらい？どんなレベル？

締切 2013年10月30日

4月と10月に行ないます。

文章表現力の目安に 申込・問い合わせは下記へ

日本語の文章力を試してみませんか

A 受検方式 ■ A4 用紙 40 字 × 30 行で印字 2000 字以内。題・内容は自由（手書き 400 字詰原稿用紙でも可能）第1回日本語文章力検定受検作品として氏名・住所・電話番号・略歴など規定の項目を記入し左記に送付のこと。

B 受検方式 ■ 第9回「文芸思潮」エッセイ賞に応募した作品を検定作品として判定しても可能。

作品を下記へお送り下さい。

「群像」「文學界」など新人賞作家・プロ作家があなたの文章力を判定します。

高校卒レベル 2 級

大卒レベル 1 級

プロ級 5 段

詳しくは検定要綱をご請求ください。

インターネットでも請求可能

共催 ● 文芸思潮

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 7-15-13

TEL03-5706-7847 日本語文章力検定協会

mail asiawave@qk9.so-net.ne.jp

一般の部

検定合格者には認定証を発行
受検料（認定証含）

6 級～4 級 3000 円

3 級～2 級 4000 円

1 級 5000 円

初～2 段 6000 円

3～4 段 8000 円

5 段 10000 円